

②リバートレッキング



テーマ

川の生き物を観察してみよう！

人数

20人

対象学年

小学4年生以上

実施時期

6月から10月

実施時間

2～3時間

最低経費

0円



参考画像：上南公民館 柵口湯沢川親水公園

場所

流れが緩やかで水深が浅い川、モデル地区：木浦川・能生川・田海川

必要なスタッフ数

スタッフ 3名程度（川の流量によって変化）

（児童1班15名で大人1名）+全体監視のため1名以上 2班体制なら3名以上

指導のねらい

- ・ 地元の川に関する歴史を学ぶ機会を作る。
- ・ 川の周辺環境（外観・水質・におい）を体験・観察する機会を作る。
- ・ 水辺の危険について学ぶことで危機管理意識を育てる。
- ・ 自然の大切さを学び、環境について考える心を育て、自然の大切さを学ぶ機会を作る。

指導の流れ及び留意点

◆活動の流れ・内容

- ①川の歴史について学ぶ機会や資料を作る。
- ②集合前に事前用具を準備する。
- ③参加者の人数・体調確認を行い、開会式・スタッフ紹介・スケジュールを説明する。
- ④歩く前に内水面漁協の方などをお呼びして川について説明を受ける。
- ⑤歩く場所によってはライフジャケットなど安全装備を付け、班ごとに川辺を歩く。
- ⑥ポイントを決めて休憩・探検する。
（植物採取・小型の水生生物捕獲・川の中を眼鏡で見る・川底の石を拾って観察など）
- ⑦休憩・探検タイムにはごみ拾いをする場所も設ける。
- ⑧ゴール後、活動の振り返り。

◆留意点

- ・歩いて虫や石ころを拾う程度の場合、糸魚川地域振興局への許可は不要。
魚を獲る場合には内水面漁協の許可が必要。
- ・溺れる、手足を切るなど危険がある事業であるため職員・役員は事前に現地を確認し、現地近くでトイレや着替えはどうするか確認しておくこと。
- ・炎天下の活動となる場合、脱水症状や熱中症に注意し、飲料水など準備しておく。
- ・川の周辺探索は事前に調査場所を決めておくこと。
- ・体調不良の方が出た場合の対処方法について事前に職員・役員で打ち合わせておく。
- ・天候が悪い場合は延期・中止をするなど安全確保について常に心掛けること。

必要な用具（物品例）

※★は必須物品

	用品名	経費の目安	内容
	救急箱・ブルーシート、ゴミ袋など	3,000 円	活動時に使用、既存のものがあれば購入不要。ゴミ拾い用の袋は持参する。多少準備
	箱型水中眼鏡	借用	無償で借用可能（生涯学習課にTEL）
★	ライフジャケット	借用	能生 B&G から無償で借用可能（生涯学習課にTEL）
	カメラあるいはビデオ	-	記録用、既存のものがあれば購入不要
	ワンタッチテント	-	日影が必要な場合
	飲料・冷たいもの	-	各自持参だが、不足に備えて用意したい。
	ゴール時に参加賞を出す場合について	-	公民館・地域活動であればゴール地点でスイカなど冷やしておくのもいい。

※借用した品が破損した場合、新たに購入して返品する。

※途中リタイヤに備え、川に沿った道で車を1台用意しておく。

参加者の持ち物

水の中にはひざ下だけ入り、ひざ上は入れない予定だが、転倒する可能性もある。
長靴など川の中に入れる靴、水筒、帽子、タオル、必要であれば着替えと救急用品
けが防止のためなるべく長袖長ズボンとする。

外部指導者・事業相談

事業相談：糸魚川市文化振興課 フォッサマグナミュージアム
糸魚川市生涯学習課
糸魚川地域振興局 地域整備部 業務課行政係

教科との関連

- 【理 科】3年：身近な自然の観察
4年：季節と生物
6年：生物と環境
- 【社 会】5年：国土の自然などの様子
- 【特別活動】遠足・集団宿泊行事

※モデルコースは次ページ



木浦地区公民館を中心としたプラン 《良いところ》

- ・ 公民館を出発帰着に出来、トイレや駐車場の不安がなく、休憩しやすい。
- ・ 見通しがよく監視しやすい。
- ・ 淡水、海水、汽水域を体験できる。
- ・ 海活動も同時に行える。

海から堤までは約 300m です。
公民館は中間地点にあります。

- ・ 公民館で集合、解散
- ・ 川について説明
- ・ みんなで公民館裏から川辺に降りる。
(秋にヤナ場とするため道がある)
- ・ 浅い川なので転ばないように注意
- ・ 川底の石などひっくり返すもあり
- ・ 上流側は堤になっている。

堤の役割について説明。

- ・ 海側の下って海岸に出て落ちているものなど確認。時期によっては砂カニなど探すのもよい
- ・ 公民館まで戻ってきて休憩
- ・ 汽水域について説明
- ・ 周辺の草木で船を作って流して競争させてもいい。
- ・ 活動の最後に河川及び海岸でゴミ拾いを行う。公民館と事前打ち合わせをしておいてゴミの処理をお願いしてもいい。

連携した活動(案)

午前 10 時から活動し、11 時 30 分に終了 河原で飯盒炊爨をしてもいい。
※煙が出るため消防に事前連絡が必要

夏季なら公民館でそうめんをゆでて周辺で流しそうめんをする、石を拾って午後から公民館で絵を描かせるなども面白い。海岸調査をさせることもできる。